

# 歴史探訪

## クラブ! 其の155

### History Inquiry Club



文化財課 ☎23局3635  
FAX 22局3811

## 渥美半島の魅力

平成23年11月15日号でも紹介した、赤羽根町の「光岩」が愛知県指定天然記念物となりました。田原市では、県の指定は40年ぶりです。また、事前の調査では伊川津町にある「鸚鵡石（平成19年9月号で紹介）」の重要性も指摘されました。光岩は、地層の褶曲（曲がりくねる）により変形によりはがれたチャート岩盤の堆積の境界面で、鏡肌の表面には摩擦痕（あすりあと）があまりみられません。その後の調査の結果、鏡肌の成り立ち



●鈍く輝く光岩

は、面が摩擦により磨かれたものではなく、褶曲が生じてはがれた地層境界面が高熱により溶けて再結晶化したものと考えられています。一方、鸚鵡石は、光岩と同じ

チャート岩盤で、地層断面と直交する断面は断層面とみられ、岩体が斜め上方向にずれてきたものです。この面には斜めに走る摩擦痕と岩盤表面の「ささくれ」が観察できます。同様のチャート岩盤であるに関わらず、光岩は褶曲、鸚鵡石は断層という違う地殻変動を観察できるのです。渥美半島、ひいては日本列島の形成過程に関わる各時期の地殻変動を語るモニュメントとして重要です。

さて、平成25年6月に「東三河ジオパーク」というシンポジウムが、行われました。「ジオパーク」とは「地球科学的に見て重要な特徴、その他の自然遺産や文化遺産を持つ地域が、それらのさまざまな遺産を有機的に結びつけて保全や教育、観光に利用しながら地域の経済発展を目指す公

園」をいいます。ジオパークを東三河に、というのがこのシンポジウムの開催目的です。東三河は中央構造線が走っているだけなく、海に面した特徴ある自然環境を持っています。日本には世界ジオパークは5カ所、日本ジオパークは20カ所あります。

田原市においては、ジオパークを構成するジオサイトの候補としては「光岩」「鸚鵡石」はもとより「笠山」「日出の石門」「汐川干潟」「表浜の海食崖」「高松町新井の貝化石」などを代表として、魅力あふれる自然遺産を限りなく上げることができ、また、自然遺産だけではなく、渥美半島の特徴的な自然にはぐくまれた「縄文時代の貝塚」「製塩遺跡」「渥美窯」などの文化遺産もジオサイトとして重要です。

ジオパークの優れたところは、自然・文化遺産の教育活動、観光活動を通じ、経済発展が進むことにより循環的にこれらの遺産が守られていく、ということです。



●日出の石門

つか東三河がジオパーク認定される日が来るかもしれませんが、そのためには、さまざまな分野の知恵と協力が必要となります。

光岩の県指定によって、自然と歴史一体となった「渥美半島」の魅力について、さまざまな可能性を改めて考えさせられました。

（増山）

※「チャート」二酸化ケイ素が主成分の堆積岩の一種。



●表浜の海食崖

## 今月の「表紙」

▼ふるさと大使のプロボクサー金子大樹さん。昨年の大みそか、絶対王者を果敢に攻め、10回にはダウンを奪う瞬間、響き渡る大歓声で会場が揺れるほどだったそう。今回、取材をし、常に前向きな彼から折れない強いハートを感じました。「くやしい気持ちに負けず、今できることを。自分はまだ強くなれる。」心を打ち抜く言葉でした。(M)

【表紙の写真】市の花「菜の花」(吉胡町)